



(写真提供：読売新聞社)

## 森岡 孝二

上の5行は、卒業式で歌われる関大逍遙歌の2番である。ここに出てくる雁は「かりがね」と読むが、「マガン」である。森鷗外の『雁』の舞台となった明治13(1880)年当時の東京にはマガンがたくさん渡って来ていたという。とすれば、マガンはかつては大阪にも来ていたのだろうか。

今でも北海道美幌市の宮島沼や、宮城県の伊豆沼には、毎年、マガンが数万羽飛来する。しかし、近畿地方には琵琶湖の湖北町に少数が来るにすぎない。湖北町の近くの旧浅井町(長浜市)の西池に来る数百羽の雁はマガンではなくオオヒシクイである。一茶が「今日からは日本の雁(カリ)ぞ楽に寝よ」と詠んだのも雁の仲間ではもっとも大きいオオヒシクイらしい。かつて大阪に雁が渡っ

てきていたかどうかを調べるためには、この逍遙歌がいつだれによって作られたかを知る必要がある。だが、関大「100年史」を見ても、現在編纂中の「120年史」の関係者に訊いても、作詞者も作曲者も制作年もわからない。

逍遙歌は戦前の旧制高校や大学の寮歌や応援歌であった。三高の「紅萌ゆる」が作られたのは、関大経済学部が創設された明治37(1904)年であった。「琵琶湖周航の歌」ができたのは大正6(1917)年であった。「哀調を帯びた大正メロディ」と言われるこの関大逍遙歌も、大正期に作られたのだろうか。ちなみに「自然の秀麗 人の親和」で始まる学歌は、千里山学舎が竣工した大正11(1922)年に、服部嘉香作詞、山田耕筰作曲で誕生した。

さて、本題のマガンの話にもどる。万葉の昔の奈良や京都にマガンが来ていることは当時の多くの和歌に詠まれていることから想像できる。ならば、明治、大正のマガ

ンの出てくる短歌を探そうと、ネットを検索していたら、「禮嚴法師歌集」(与謝野鉄幹の父の歌集、明治43、1910年刊)に、雁の歌がいくつか収められていることがわかった。そこには有馬や淡路の地名があることから、当時は、難波江と呼ばれた淀川の河口付近の葦の葉茂る入江あたりにもマガンが来ていたものと思われる。

マガンは9月末から10月に飛来し、2月下旬から3月に北へ帰る。関大逍遙歌の「雁高く鳴きて飛ぶ」の雁は、春の雑木林に咲く金蘭の花がすでに散っているのを見ても、3月の北帰行のマガンでなければならぬ。時は「千里が丘に月落ちぬ」「眺むる彼方白明に」から考えて夜明けである。夜明けとともに飛び立ち、雁行と呼ばれるくさび形の飛行隊形を描いて、遙か故郷のシベリアをめざすマガンの群れ。それは毎春、関大から全国に、そして世界に旅立っていく学生の姿でもある。

(経済学部教授)

### HEADLINE

- 10月9日 初等教育学専修を開設
- 8月4日 創立120周年記念式典開催
- 2月7日 授業支援SAの協力を得て
- 2月6日 悠久の庭が完成
- 2月6日 学園祭フォトグラ

千里歌

暑かった夏が過ぎ、心地よい涼しさを感じるこの季節になると、大学構内にははにかに熱気を帯びるようになる。大学の至る所で学生たちが熱心に大学祭の準備をしているのを見かける▼多くの学生たちにとって、大学祭は大学生活において最も思い出に残る行事のひとつである。大学祭のための準備は極めて大変であるが、それも学生たちからすればきつくない思い出になるに違いない▼学生たちにとつて、大学とは学問をはじめとして、多くのことを学ぶ場である。もちろん学ぶのは講義やゼミのときだけではない。学生たちが主体となつて自らの手で進める大学祭や部活動、サークル活動などのさまざまな学ぶ場である▼学生時代には、その時にしか出来ないことがたくさんある。学生のみならず、そのみに追いつくことは、「すぐに役に立つ」のではなく、大学祭や部活動、サークル活動などの、学生である今しか出来ないことに精一杯打ち込んでほしい。こうすることによって、大学はこれまで以上にすばらしい学びの場となるはずである。

(榊原雄一郎)

2007 年度 S F 入試 志願者・合格者状況

Table with columns for applicant numbers (志願者) and qualified numbers (合格者) across various departments like Law, Economics, Education, etc.

2007 年度 スポーツ・フロンティア入試 合格者は 30 競技 151 人... 本学はスポーツ実績を誇る...

文学部総合人文学科 初等教育学専修を開設

平成十九年四月から、文 課題、小中一貫教育、総合... 学部総合人文学科に初等教育...

秋学期 公開授業を開催

文学部身体運動文化専修 回、「地域住民」と「大... 体育学教室では、年二学...



本学の S F 入試は年々、... 合格者が高まり、競技レベ...

2007 年度 入学試験要項... 願書を頒布中... 二〇〇七年度入学試験要項...

各種資格試験や 採用試験合格者... 大学卒業生(来年三月卒... 採用試験合格者...

平成 19 年度 在外研究員一覧

Table listing faculty members and their research destinations for the 19th year of Heisei.

大学 トピックス

五月五日に国際交流計画に... 関西大学日本・EU 研究... 本学は、日本研究や EU...

# この冬、出かけよう!



**●白馬梅池高原ロッジ**  
本学の白馬梅池高原ロッジは、梅池高原スキー場のゲレンデまで徒歩一分のところにある。ゼミやサークル等の合宿はもちろんなこと、本学学生であれば友人同士でも利用することができる。利用料金もリーズナブルで食事は美味、ボリューム満点と利用者からは好評である。今年の冬はぜひとも白馬梅池高原ロッジへ足を運んでほしい。

**●六甲山荘**  
大阪から一時間程度で行ける六甲山荘もお勧めだ。六甲山の自然に恵まれ、近くには人工スキー場や展望施設などもあり、また、眼下に見ることが出来る神戸の景色はすばらしい。ゼミやサークル等の合宿で大いに利用してほしい。

白馬梅池高原ロッジおよび六甲山荘の案内パンフレットは、学生生活課、高槻キャンパスオフィス、総務課(百周年記念会館内)に備えている。

**【申込場所・時間】**  
千里山キャンパス: 総務課(百周年記念会館内) ☎0663680297  
高槻キャンパス: 高槻キャンパスオフィス  
※月・金曜日 九時~十六時まで  
※白馬梅池高原ロッジの二月および三月の利用は、十二月一日(金)から受付開始。  
(十二月および一月の利用は現在受付中)  
(総務課)

セミナーハウスウェブサイト  
<http://www.kansai-u.ac.jp/Jigyo/seminar/index.html>

## 関西四大学学長フォーラムを開催

関西大学、関西学院大、財団理事長、元文部科学大臣の学長が名古屋に集い、十一月十一日、名古屋商工会議所大ホール名古屋市東区において、「いま、太学」に求められるもの、建学の精神とブランド力」というテーマのもと、関西四大学学長フォーラムを開催した。

当日は、新国立劇場運営



(写真提供: 読売新聞社)

各大学の学長が、それぞれの大学の「建学の精神」を教育、研究にどのようにつなげているか、人材育成を行っているのかについて、河田学長、今展の展開などについて、学生および教員それぞれの視点から生の率直な声を聞

## 第12回 FDFフォーラムを開催

全学共通教育推進機構で、十二月二十日(水)十三時三十分から、千里キャンパスBIGホール100と高槻キャンパスD106教室同時開催において、第十二回 FDFフォーラムを開催す

今回のフォーラムでは、みなさんの FDF 授業評価アンケートの現状と展望」と題し、これまでの本学の FDF 活動、特に「学生による授業評価アンケート」の実施内容・方法等への意見や、今後の展開などについて、学生および教員それぞれの視点から生の率直な声を聞

## 関西四大学の学生が共同プレゼン演習 プロ野球オリックスファン増加策

関西四大学、関西学院大、関西学院大、同志社大学、立命館大学の社会学部立命館大学は産業界社会学部「広告論」ゼミ受講生が、十月二十一日十三時から十八時の間、第三学舎四三〇二教室で、ゼミ生約八十人による共同プレゼンテーション演習を行った。

今回のプレゼンテーション演習は、関同立の「広告論」担当教員(本学は水野由多加社会学部教授)による「オリックスファン増加策」をテーマとした。

平成十八年度の就職状況と特徴として、採用の早期化と長期化(一業の採用増大)リクルーター制の復活などが挙げられる。採用活動の早期化を抑制する目的で論議が設けられているにもかかわらず、優秀な人材を確保するために、一部の企業は他社に先んじて独自の企業やゼミナリーを実施し、選考を二月頃から開始した。そのた

## 就職状況

平成十八年度の就職状況と特徴として、採用の早期化と長期化(一業の採用増大)リクルーター制の復活などが挙げられる。採用活動の早期化を抑制する目的で論議が設けられているにもかかわらず、優秀な人材を確保するために、一部の企業は他社に先んじて独自の企業やゼミナリーを実施し、選考を二月頃から開始した。そのた

## 公開授業を開講

本学と活字文化推進協議会の共同授業「読書教養講座」の公開授業が、十月七日十三時半から、千里山キャンパスBIGホール100で開催された。当日は、早稲田大学名誉教授で日本近代文学館館長の紅野敏郎氏をゲストに迎え、同授業担当者の山野博史法から「読書」を探求をテーマに、本学で知られる両氏が、豊富な読書経験から、本の魅力や読書の楽しみを語り合ひ、同授業の受講生が熱心に聴講した。

## 教職課程フォーラムを開催

第一節 基調報告「魅力ある教員像」―生徒との関わりと実践の魅力―  
第二節 パネルディスカッション「私のめざす教師像」(全学共通教育推進機構 免許・資格部門委員長 玉田 勝郎)

## 今年度の司法、公務員合格速報

司法試験に合格  
新司法試験の本学合格者は十八人、旧司法試験の本学合格者は十一人である。司法試験の本学合格者は、六人、旧司法試験の本学合格者は、五人である。司法試験の本学合格者は、六人、旧司法試験の本学合格者は、五人である。

## 平成19年度開講講座

公務員講座は「国I対策講座」で特生割引制度を実施  
公務員講座では「法科大学院入試対策講座」を充実  
「情報処理講座」では、ロープレなど、学内随所に配置します。ぜひご覧ください。

## 就職説明懇談会を開催

十月一日、千里山キャンパスで、三年次生父母対象の就職説明懇談会を開催された。十一月三日(日)には、二年次生父母対象の就職説明懇談会が千里山キャンパスで開催された。

「情報処理講座」では、ロープレなど、学内随所に配置します。ぜひご覧ください。問い合わせは、リドセンター事務室へ ☎0663680721

The 120th anniversary ISSUE

2006

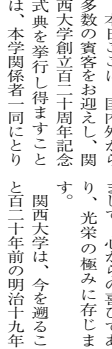
創立百二十周年記念式典開催

理事長式辞

森本 靖一郎 理事長



十一月四日、大阪西区京町... 理事長式辞... 森本 靖一郎 理事長... 大学の道は、必ずしも平坦なものではなく、苦難にあふれること、しばしばありました。このことは、関西大学の青史にも明らかであり、これを繰り返すことが、私どもに寄せられた使命を、改めて心に期する次第であります。



学長挨拶

降、雪の降る中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。さて、ここからは、江戸の幕府の官僚を養成する朱子学的体制の学問、京都の商家や僧侶の学問とを異にした、庶民の文化と学問が花を咲かせていました。たとえば、大阪府人の気風にあって人情味あふれた作品を書いた井原西鶴、翁。享保九(一七二四年)年、その文や『出だ後語』を以て儒学崇拝の徳徳堂、文政八(一八二五年)には藤澤富永伸泰、その著『夢ノ代』で迷信と机上の空論を拒否した山片鱗桃、また知られざるに天保九(一八三八)年、大飢饉に際して貧民救済を唱えた大塩平八郎など、まさに「学問の開け

去る十一月四日(土)、千里山キャンパスのBIGホールにおいて、創立百二十周年記念式典が開催された。当日は、好天に恵まれ、栄えある百二十周年の式典に相応しく祝典色の日となった。各界各層の代表である約千人の来賓・参列者を迎え、関西大学にまたたつ輝かしい歴史の一ページが加わった。記念式典は、午後一時半からの映像紹介の後、午後二時に開式。学歌斉唱に始まり、森本理事長の式辞に続き、河田学長が挨拶した。続いて、来賓の池坊保子文部科学副大臣をはじめ、本学校友の冬柴鐵三国土交通大臣、安西祐一郎社団法人日本私立大学連盟会長、太田房江大阪府知事がそれぞれ祝辞を述べた。その後、総合学生会館、メディアパーク、凛風館の二階にて記念祝賀会を開催した。多くの方に祝福されたこの創立百二十周年を契機に、今後は、建学の精神を忘れることなく、関西大学から世界へ飛躍していきたいと誓える次第である。

天高く、秋の香りがする。この秋の日、今日(二〇〇六年)十一月四日、私も関西大学は、創立百二十周年を迎えることができました。海外から、また日本各地から、多くの方のご臨席を仰ぎ、この記念式典を得て、ここにその記念式典

河田 悌一 学長... 学長挨拶... 降、雪の降る中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。さて、ここからは、江戸の幕府の官僚を養成する朱子学的体制の学問、京都の商家や僧侶の学問とを異にした、庶民の文化と学問が花を咲かせていました。たとえば、大阪府人の気風にあって人情味あふれた作品を書いた井原西鶴、翁。享保九(一七二四年)年、その文や『出だ後語』を以て儒学崇拝の徳徳堂、文政八(一八二五年)には藤澤富永伸泰、その著『夢ノ代』で迷信と机上の空論を拒否した山片鱗桃、また知られざるに天保九(一八三八)年、大飢饉に際して貧民救済を唱えた大塩平八郎など、まさに「学問の開け

も、深い学識と温かい人間観を備えた人材を育成し、世に送り出すことが本学の使命であります。これに果敢と断固たる決意で教育、研究、社会貢献に全力を尽くし、社会的な存在意義を保ち続けるだけでなく、伝統ある関西大学の姿を不動のものとしなければなりません。平成十八年十一月四日、今日この日もまた、悠久の時の流れの一点に過ぎないかも知れません。しかし、この一点の持つ意義こそ、無限に広がる空間と、永たげ、以上をめで式辞といたします。



## 祝辞



さわやかな秋晴れのもと、本日に関西大学創立百二十周年記念式典が挙行されますことを心よりお喜び申し上げます。

森本理事長の強いリーダーシップのもと、力強く躍進する学校として今日を迎えにられましたこと

## 池坊 保子 文部科学副大臣

開学され、今日では知の世紀をリードし、新しい公共を創造する力強いみなぎる二十一世紀型総合大学を理念とし、数々の独自の全事業、教育改革を行っております。

現在、七学部、十の研究科を擁し、三十万人を超える卒業生並びに在校生、八千人を有する総合大学になりましたことは、この関西に生きるものとして大いに誇りであると同時に、関西大学を日本の宝とも思っております。

また、今年の夏には、私出陣させていただきましたが、すばらしいスケジュールとなっております。

ともすれば、若者たちの中に働くことの価値や意義を見出すことがない中であって、しっかりと学校生活

## 祝辞



本日は関西大学創立百二十周年という記念式典が、校友、学友、そして関係される皆様がこのように多数お集まりになり、盛大に開催されましたこと、心からお喜び申し上げます。おめでとございます。

私は、先ほど来賓の一員として紹介いただきましたが、私はこの関西大学二

## 冬柴 鐵三 国土交通大臣(校友)

さて、私は昭和三十一年、一九五六年に本学部の法学部法律学科に入學いたしました。今年は一〇六年でございますが、ちょうど五十年、半世紀を刻んだことになりました。百二十年の歴史の中で、最後に二十一年、私は関西大学ともここに生きてきたと

三回生のときは自炊をいたしておりました。したがって、このような雑事を一雑事といつたらあれですけれども、人にしても生のおとうさんというので、三回生のとき結婚をいたしました。高松時代からつき合っていた女性でございますが、今の家内でございます(笑)。

結婚をいたしましたから

展、力になっていくだろうと信じております。

百二十年という輝かしい伝統と実績を、今後も森本理事長のもと、学長をはじめ、ここにいらつしやるすべての方々のお支えをいただきながら、現代人が見失っている教育と研究の畏敬の念、先ほど森本理事長がおっしゃったとき、私はこれこそが現代に大切な礎ではないかというふうに思っています。

その礎を持ちながら、実業を大切に、さらに国際社会の中で尊敬と愛情で見詰めるすばらしい日本人を育成していただきますよう心より願って、今日の日このすばらしいお祝いの会の挨拶とさせていただきます。



という職業であるのに対して、代議士の場合には、將來展望的と申すか、これに対する国民に対してどう対応していくか、そういう意味において違うけれども、「関大党を勝たすだけ」ということで獅子吼さず、正義の実現であり、基本的な人権の尊重であり、また私力する人が報われる社会をつくる、そういう意味では共通しているということ、一大決心をして政治に転向いたしました。

爾來、七回激しい選挙を戦い、二十年の日を刻みまいたけれども、このときも関西大学のおかげでございます。私が苦しい戦いでいたときに、選挙区の人たちはもちろんのことであり、関西大学の学友であるが、過去に起ったことを将来に向かって解決する

応援をさせていただいて今日があります。前回の選挙のときにも、第一声は森本理事長に来てくださいまして、いまだに衰えない大声で、「関大党を勝たすだけ」ということで獅子吼さず、人の和と河田学長がおっしゃいましたが、全くそのとおりだと思います。本日ご参集の皆様方とともに手を携えて、日本の国家の発展のために、まっすぐに汗を流し、働く人が報われる社会をつくるために頑張りたいことをお誓い申し上げます。そして皆様とともに関西大学を強い大学にするたごえ、このようにも御益をさせていただきます。私のお誓いですが、私の今日の祝辞とさせていただきます。





# 特集

# 教育の質的向上

の操作方法指導等、多様なサービスを行っている。

## 授業支援 S A の協力を得て

現在の授業支援 S A の具  
体的業務は次のとおりであ  
る。ただし、これは一例で  
あって、教育や授業の質的  
向上につながることであれ  
ば積極的にサポートするの  
で、ぜひ活用してもらいた  
い。

・各種システムの利用支援  
・教室での資料配付および  
回収補助  
・出席票の配付、回収、整  
理およびデータ化  
・レポートの回収、整理お  
よびデータ化  
・授業風景の撮影  
・緊急を要する教材印刷ホ  
ツキ止めの後の後処  
理を含む  
・私語防止業務(教室内の  
音のモニタリング)

## 教務センター 授業支援ステーションについて

### 授業支援 S A とは? 「学生が参画 する大学」

### 142 人の 授業支援 S A

### 業務は多種多様、 日々業務開発

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

## アドバイザー スタッフを配置

## まだ発展途上、 今後の展開は?

目録に立った教室の設備や  
各種機器のメンテナンス  
成、さらに全学舎の詳細な  
図面の作成を進めている。  
また、「学生の立場からみた

提案、コミュニティサイト  
の構築など、授業支援 S A  
の業務支援も担っている。  
アドバイザースタッフ  
は月曜日と木曜日、授業支  
援ステーション(第二学  
舎)で勤務してもらいたい。  
ぜひ活用してもらいたい。

## 面白みは 自分の中にある

### 第 3 学舎授業支援 S A 買 曉琳さん (大学院経済学研究科 M1)

### 第 2 学舎授業支援 S A 矢野 博嗣さん (社会学部 4 年次生)

### 頼れるパイプ役を めざす

### まだ発展途上、 今後の展開は?

## 政策創造学部における ゼミナールの概要

## 「地球市民」を育成する教育

政策創造学部の特長な  
教育システムのひとつとし  
て、その中心であり、具体  
的な解決力・実践力を養う  
フィールドとして少人数で  
行われるゼミナールがあ  
る。

「地球市民」を育成する教育  
の概要  
・担任者により、年間かけて  
行われる専門演習は本学部  
のゼミナールの根幹をなす  
ものである。ここでは、担  
任者の専門分野に関する研  
究内容をフィールドワーク  
を通じて政治学的、経済学  
的なアプローチを一年かけ

必要となる興味を芽生さ  
せ、知的探究心として開花  
させることを目的とし、政  
策立案力を備えた「地球市  
民」を育成するための教育  
を進めていくものである。  
そして、四年次の秋学期  
に、さまざまな実施形態を通  
じて学ぶ、基礎教育から専門  
教育への橋渡しとしての役  
割を果たす。

・各種システムの利用支援  
・教室での資料配付および  
回収補助  
・出席票の配付、回収、整  
理およびデータ化  
・レポートの回収、整理お  
よびデータ化  
・授業風景の撮影  
・緊急を要する教材印刷ホ  
ツキ止めの後の後処  
理を含む  
・私語防止業務(教室内の  
音のモニタリング)

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。

・巡回  
・授業期間中の試験実施補  
助  
・右のとおり、多種多様な  
あり、日々具体的な業務の  
検討を繰り返していること  
である。





関大通信 第339号

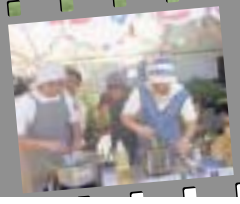
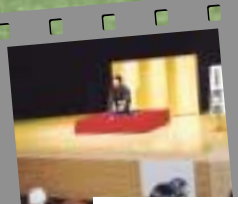
平成18年(2006年)11月29日  
大阪府吹田市山手町3-3-35  
http://www.kansai-u.ac.jp/  
次号は1月10日発行の予定です



# 2006 学園祭フォトグラフィティ



統一学園祭  
11/9(木)  
~11/12(日)  
(写真提供<一部>:  
関大スポーツ編集部)



今年もまた年内最後の関大通信を発行する時期となった。今年には関西大学にとって、創立百二十周年を迎えるという記念すべき年であった。百二十年の歴史からは、多くの困難を乗り越えてきた先輩たちの努力の跡が窺われる。

地球上ではこの百二十一年間に、技術革新の目覚ましい発展が見られた。それが人類に与えたものが幸福だけではなかったことは歴史の教えるところである。昨今のIT産業の進展には、目を見張るものがある。しかしながら、その一方で、IT弱者と言われる人びとの存在も忘れてはならない。これからの百二十年間は、そのような社会的格差を見直して、より良い時代へと向かっていってほしいと切に願う。

(伏見 英俊)



▶ 編集後記 ◀

森岡 孝二(もりおか こうじ) 教授  
専門は企業社会論。昨年は「働かざる者」の時代」を著し、来年一月にはD・K・シプラー「ワーキング・プア」を翻訳出版の予定。NPO株主オンスマンの理事長として会社ウォッチにあたりながら、バード・ウォッチングを愉しむ。



今月の表紙